

平成21年6月期 第3四半期決算短信

平成21年5月8日

上場会社名 トラストパーク株式会社

上場取引所 福

コード番号 3235 URL <http://www.trustpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 靖司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 矢羽田 弘

TEL 092-437-8944

四半期報告書提出予定日 平成21年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第3四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第3四半期	3,357	—	32	—	20	—	△6	—
20年6月期第3四半期	3,046	7.0	139	△16.7	131	0.2	55	△56.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第3四半期	△784.04	—
20年6月期第3四半期	6,255.46	6,037.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月期第3四半期	2,270	492	21.7	55,391.56
20年6月期	1,630	519	31.9	58,475.71

(参考) 自己資本 21年6月期第3四半期 492百万円 20年6月期 519百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	1,000.00	—	1,100.00	2,100.00
21年6月期	—	1,200.00	—		
21年6月期 (予想)				1,200.00	2,400.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,570	11.0	75	△50.7	60	△59.0	7	△87.8	787.84

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 ピー・エム・トラスト株式会社) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------|-------------|--------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年6月期第3四半期 | 8,885株 | 20年6月期 | 8,885株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年6月期第3四半期 | 1株 | 20年6月期 | 1株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年6月期第3四半期 | 8,885株 | 20年6月期第3四半期 | 8,866株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライム問題に端を発する金融不安の拡大、株式・為替市場の大幅な変動等の影響を受けて企業業績、個人消費とも先行き不透明な状態が続いております。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、平成20年9月頃よりガソリン価格は値下げ傾向にはあるものの、自動車利用の手控えや工事関連車両の需要減が、駐車場の稼働の減少につながる等、全体的に低調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、将来の収益拡大を図るために、継続して営業力の強化を重点課題として新規駐車場の開発に注力した結果、第3四半期末の駐車場数は420ヶ所、車室数は18,969車室となりました。また、既存駐車場におきましては、カード会員拡大、駐車料金・駐車場賃借料の見直し、月極駐車場顧客の確保等収益力向上にも注力してまいりました。その一方で、営業部門及び管理部門の増員に伴う人件費の増加、新規事業立ち上げ等により費用が増加することとなりました。

以上の結果、売上高は3,357,936千円と増収となりましたが、営業利益32,735千円、経常利益20,475千円、四半期純損失は6,966千円と減益になりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して252,344千円増加し1,019,815千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加249,038千円、前払費用の増加15,913千円、受取手形及び売掛金の減少29,624千円等によるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して388,127千円増加し1,250,800千円となりました。これは主として、新規直営駐車場の用地取得等の設備投資による有形固定資産の増加339,832千円、敷金保証金の差入等による投資その他の資産の増加46,439千円等によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して297,709千円増加し882,145千円となりました。これは主として、短期借入金の増加340,000千円、1年内返済予定の長期借入金の増加29,782千円、未払法人税等の減少75,440千円等によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比較して370,165千円増加し896,316千円となりました。これは主として、長期借入金の増加346,422千円、月極駐車場契約者からの預り敷金の増加19,460千円、退職給付引当金の増加2,757千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して27,402千円減少し492,154千円となりました。これは主として、配当金支払いによる利益剰余金の減少20,435千円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し197,178千円増加し、522,961千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、26,157千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益15,946千円、駐車場設備等の減価償却費61,962千円、仕入債務の減少9,288千円による支出、法人税等の支払い113,413千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、457,136千円となりました。これは主に新規駐車場設備に係る有形固定資産の取得による支出371,356千円、定期預金の預入による支出53,070千円、新規駐車場に係る敷金の差入による支出30,830千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により取得した資金は、680,472千円となりました。これは主に短期借入れによる収入1,525,000千円と短期借入金の返済による支出1,185,000千円、長期借入れによる収入445,000千円と長期借入金の返済による支出68,796千円、配当金の支払額19,543千円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年6月期の通期の業績予想につきましては、平成20年11月7日に公表いたしました「平成21年6月期 第1四半期決算短信」における通期の業績予想を修正しております。詳しくは平成21年5月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

（新規）ピー・エム・トラスト株式会社

当第3四半期連結会計期間に新たに設立したことにより、連結子会社に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正（企業会計基準委員会））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、リース資産が有形固定資産に17,742千円、リース債務が流動負債に4,209千円、固定負債に14,606千円計上されております。また、この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

従来、当社グループは従業員の退職金規程がありませんでしたが、従業員の生活の安定及び勤労意欲の増進を目的として、平成20年7月に新たに退職金規程を制定し、退職給付引当金を計上することといたしました。なお、過去勤務債務は発生しておらず、当第3四半期連結累計期間に係る発生額を売上原価に1,041千円、販売費及び一般管理費に1,740千円計上しております。これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は2,782千円それぞれ減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	639,139	390,100
受取手形及び売掛金	109,101	138,726
有価証券	2,027	2,018
販売用不動産	28,070	—
仕掛販売用不動産	—	26,118
原材料	130	—
前払費用	199,551	183,637
その他	44,465	29,651
貸倒引当金	△2,670	△2,781
流動資産合計	1,019,815	767,470
固定資産		
有形固定資産		
土地	767,947	460,513
その他(純額)	204,048	171,650
有形固定資産合計	971,996	632,163
無形固定資産	34,146	32,290
投資その他の資産		
その他	244,777	198,625
貸倒引当金	△120	△406
投資その他の資産合計	244,657	198,218
固定資産合計	1,250,800	862,673
資産合計	2,270,616	1,630,143
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,472	64,761
短期借入金	370,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	110,556	80,774
1年内償還予定の社債	5,000	10,000
未払法人税等	3,103	78,543
ポイント引当金	21,329	19,425
その他	316,684	300,931
流動負債合計	882,145	584,435
固定負債		
社債	—	5,000
長期借入金	755,804	409,382
退職給付引当金	2,757	—
その他	137,755	111,768
固定負債合計	896,316	526,150
負債合計	1,778,462	1,110,586

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,500	333,500
資本剰余金	104,000	104,000
利益剰余金	54,652	82,054
株主資本合計	492,152	519,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	2
評価・換算差額等合計	1	2
純資産合計	492,154	519,556
負債純資産合計	2,270,616	1,630,143

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	3,357,936
売上原価	2,793,481
売上総利益	564,455
販売費及び一般管理費	531,719
営業利益	32,735
営業外収益	
受取利息	1,071
受取配当金	12
受取保険金	752
その他	1,178
営業外収益合計	3,015
営業外費用	
支払利息	12,480
その他	2,794
営業外費用合計	15,275
経常利益	20,475
特別利益	
固定資産売却益	320
特別利益合計	320
特別損失	
固定資産売却損	41
減損損失	4,736
その他	72
特別損失合計	4,849
税金等調整前四半期純利益	15,946
法人税、住民税及び事業税	19,542
法人税等調整額	3,370
法人税等合計	22,912
四半期純損失(△)	△6,966

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	
売上高	1,148,900
売上原価	960,448
売上総利益	188,452
販売費及び一般管理費	187,202
営業利益	1,250
営業外収益	
受取利息	377
受取配当金	5
その他	299
営業外収益合計	682
営業外費用	
支払利息	4,676
その他	552
営業外費用合計	5,229
経常損失(△)	△3,296
特別利益	
固定資産売却益	220
特別利益合計	220
特別損失	
固定資産除却損	51
特別損失合計	51
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,128
法人税、住民税及び事業税	5,736
法人税等調整額	△971
法人税等合計	4,764
四半期純損失(△)	△7,892

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	15,946
減価償却費	61,962
減損損失	4,736
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△396
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,904
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,757
受取利息及び受取配当金	△1,083
支払利息	12,480
有形固定資産売却損益 (△は益)	△278
固定資産除却損	243
売上債権の増減額 (△は増加)	29,624
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,082
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,288
前払費用の増減額 (△は増加)	△14,723
その他	△1,853
小計	99,947
利息及び配当金の受取額	1,083
利息の支払額	△13,775
法人税等の支払額	△113,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,157

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年7月1日
至 平成21年3月31日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△53,070
定期預金の払戻による収入	1,200
有形固定資産の取得による支出	△371,356
無形固定資産の取得による支出	△10,735
有形固定資産の売却による収入	370
貸付金の回収による収入	382
敷金の回収による収入	7,675
敷金の差入による支出	△30,830
その他	△771
投資活動によるキャッシュ・フロー	△457,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,525,000
短期借入金の返済による支出	△1,185,000
長期借入れによる収入	445,000
長期借入金の返済による支出	△68,796
割賦債務の返済による支出	△4,363
社債の償還による支出	△10,000
リース債務の返済による支出	△1,824
配当金の支払額	△19,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	680,472
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	197,178
現金及び現金同等物の期首残高	325,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	522,961

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間(自平成21年1月1日至平成21年3月31日)

	駐車場事業 (千円)	CG制作事業 (千円)	不動産等事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,134,080	8,140	4,999	1,680	1,148,900	—	1,148,900
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	60	—	—	—	60	(60)	—
計	1,134,140	8,140	4,999	1,680	1,148,961	(60)	1,148,900
営業利益又は営業損失(△)	7,675	△621	△256	△5,546	1,250	—	1,250

当第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成21年3月31日)

	駐車場事業 (千円)	CG制作事業 (千円)	不動産等事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,326,544	20,253	9,458	1,680	3,357,936	—	3,357,936
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	60	—	6,592	—	6,652	(6,652)	—
計	3,326,604	20,253	16,050	1,680	3,364,589	(6,652)	3,357,936
営業利益又は営業損失(△)	48,176	△5,834	2,532	△5,546	39,328	(6,592)	32,735

(注) 1 事業の区分の方法

事業は、役務の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 事業区分の追加

当第3四半期連結会計期間において、ピー・エム・トラスト株式会社を設立し、飲食サービス店舗の運営を開始したことにより「飲食事業」セグメントを新たに追加しております。

3 各事業区分の主な内容

- (1) 駐車場事業・・・駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する事業
- (2) CG制作事業・・・コンピュータグラフィックスの制作販売に関する事業
- (3) 不動産等事業・・・不動産の売買、仲介及び賃貸並びにこれらに付随する事業
- (4) 飲食事業・・・飲食サービス店舗の運営及びこれらに付随する事業

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成21年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成21年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年6月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,046,036
II 売上原価	2,438,431
売上総利益	607,605
III 販売費及び一般管理費	468,142
営業利益	139,462
IV 営業外収益	3,589
V 営業外費用	11,453
経常利益	131,599
VI 特別損失	2,308
税金等調整前四半期純利益	129,291
税金費用	73,830
四半期純利益	55,460

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年6月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	129,291
減価償却費	45,832
減損損失	2,264
貸倒引当金の増加額	324
ポイントカード引当金の増加額	3,447
受取利息及び受取配当金	△1,354
支払利息	10,984
固定資産除却損	281
売上債権の増加額	△1,494
仕入債務の増加額	11,879
前払費用の増加額	△10,507
未払金の増加額	20,607
未払消費税等の減少額	△11,992
前受金の減少額	△9,981
預り金の増加額	1,626
預り敷金の増加額	9,253
破産更生債権の減少額	16
リース資産減損勘定の減少額	△17,710
その他	△6,747
小計	176,020
利息及び配当金の受取額	1,354
利息の支払額	△11,138
法人税等の支払額	△39,588
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,647

	前年同四半期 (平成20年6月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△5,459
定期預金の払戻しによる収入	3,600
有形固定資産の取得による支出	△81,837
無形固定資産の取得による支出	△2,686
貸付による支出	△350
貸付金の回収による収入	382
敷金預託による支出	△16,034
解約に伴う敷金回収による収入	16,965
その他	△2,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,342
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,560,000
短期借入金の返済による支出	△1,460,000
長期借入金の返済による支出	△80,917
割賦未払金の支払による支出	△4,197
社債の償還による支出	△10,000
配当の支払額	△7,284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,398
IV 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	35,906
V 現金及び現金同等物の期首残高	439,190
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	475,097

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年7月1日 至平成20年3月31日)

	駐車場事業 (千円)	CG制作事業 (千円)	不動産等事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,019,006	24,651	2,379	3,046,036	—	3,046,036
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,019,006	24,651	2,379	3,046,036	—	3,046,036
営業費用	2,867,639	29,672	9,261	2,906,574	—	2,906,574
営業利益又は営業損失(△)	151,366	△5,021	△6,881	139,462	—	139,462

(注) 1 事業の区分の方法

事業は、役務の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業区分の主な内容

- (1) 駐車場事業・・・駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する事業
- (2) CG制作事業・・・コンピュータグラフィックスの制作販売に関する事業
- (3) 不動産等事業・・・不動産の売買、仲介及び賃貸並びにこれらに付随する事業